令和６年能登半島地震で亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、一日も早い復興をご祈念申しあげます。

令和６年２月１日発行

# 越谷市立東中学校だより　第10号

電話　048-962-2366　公式ＨＰ http://school.city.koshigaya.saitama.jp/higashi_j/index.html

## 「疾風知勁草」

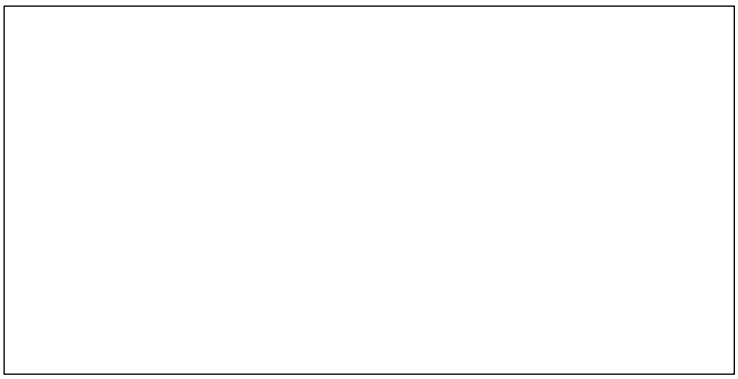
校長　松村　哲延

お正月の風物詩、すでに国民的行事となっている「東京箱根間往復大学駅伝競走」いわゆる「箱根駅伝」。今年で記念すべき第100回となる大会が実施されました。この学校だよりをお読みいただいている皆様の中でも２日間に渡る学生アスリートの激走をTVにかじりついてご覧になっていた方も多かったのではないでしょうか。今シーズンは何と言っても駒澤大学の力が目立っていました。それまで行われた大学駅伝メジャー大会、出雲駅伝や全日本大学駅伝で優勝している駒沢大学が、箱根でも優勝して「三冠達成か？」との下馬評も高かったのですが、実際ふたを開けてみれば、青山学院大学が３区からの逆転優勝を果たし、その底力を見せつけてくれました。青学の原晋監督は、タレント性も高く、マスコミへの露出度も高い、スター監督でありますが、松村にとっては別の名将監督が印象に残っています。歴代優勝校の中で上田誠人監督に率いられ、平成の初めの頃に彗星のごとく現れ、連続優勝を果たすなど結果を残し、今なお一線で活躍している山梨学院大学。（現在は後進の飯島監督に道を譲られています。）その「ヤマガク」のタスキに刺繍されていた言葉が**「疾風知勁草」**（しっぷうにけいそうをしる）です。初めてテレビで見た時にはなんて書いてあるのか分からなくて、後に何かの本で書いてあって「ああ、そういうことか。」と納得しました。「疾風」はお分かりの通り「激しい風」。「勁草」は「強くたくましい草」の意味です。つまり「本当に強く丈夫な草というのは、激しく吹きすさぶ風の中で初めて知る（見分ける）ことができる。（弱い草は折れて、千切れて、飛んで行ってしまうから。）」ということで、転じて「人間も逆境の中でこそ、その人の本当の強さが分かる。」「逆境の時だからこそ、その人間の真価が明らかになる。」という意味になるそうで、元々は中国の古典「後漢書」の中の言葉だそうです。若い頃にまだ無名の大学であった山梨学院大学の監督となり、高い志を抱きながらも実績のない中で選手集めから苦労を重ね、選手とともに成長し、全国区の大学と肩を並べて競えるようになり、そして平成４年に初めて日本一となった上田監督さんらしい言葉をそのタスキに刺繍で入れ込んでいると、納得し感心しました。私の好きな言葉の一つでもあります。

今年度は、１月22日の月曜日から、３年生の子ども達にとっての「進路実現物語」最終章の第Ⅰ部となる、私立高校受験が行われました。ほとんどの子ども達が初めてとなる「受験」。多くの子どもは併願校の受験でしたが、中には第１志望で受けている子どももいました。どれだけ緊張したことでしょう。毎年この時期にはお伝えしていることですが、そんな子どもたちを支えるために、今年も３学年のスタッフは、朝6：00くらいの時間から不測の事態に備えて学校に詰めたり、各駅の改札口付近に立ち、寒風吹きすさぶ不動橋付近にも立つなどして、受験に向かう子ども達を笑顔で見送るとともに、励ましの言葉をかけたりしていました。そんな中、子どもたちは「人生の時」に向かって受験校に向かって行きました。毎年、この時にともに駅に立っていて同じように感じることですが、不安と緊張と寒さでいつもと違うようなこわばった面持ちの子どもが先生の顔を見て、一瞬で「パア」っとほころぶような笑顔になったり、「ホッ」と安心したような表情を見せて手を振って近づいてくる様子を見ていると、こちらの心まで温かくなりま

す。いつものことながら、先生達に愛されて大切にされた、本当に幸せな子どもたちだなあと思うと同時に、我々の方も同時に子どもたちに「癒されている」のかなとも思います。これも毎年思うことですが､別にこういうことをしたからと言って､子どもたちがたくさん点数取れるとか、合格するとかは関係ないかも知れませんし、科学的に効果があるとは証明されていません。が、こういうつながりこそに実は非常に大切な「何か」、いわゆる「絆」のようなものが息づいているのだと、私は思います。そしてこの「何か」が最後の最後に力を発揮するものだとも経験上思っています。さらに、こんな経験が子どもたちの中に本当の「生きる力」を育んでいくものと考えます。（もちろん「働き方改革」や「負担軽減」の考えからは対極にあるものなのでしょうが…）そして先週、ほとんどの高校から結果が送られてきました。「合格」の知らせを受けて、ほっと胸をなでおろすとともに、喜びに包まれている子どもがいます。中には、合格の知らせを受けて、嬉しくて早く先生方に知らせたいと、わざわざ再登校して伝えに来た子どももいました。（かわいいですよね。）が、その陰で、残念な結果を受け、初めてとなるような痛みを受けている子どももいます。そんな子どもは言うなれば人生の「疾風」を受けている状態です。でも、負けないで欲しい。高校受験だけで人生が決まるわけではないし、君の人格全てが否定されたわけではない。そんな話も、担任をはじめとしてその子に関わる教員から、子どもの顔を正面から見て、自分の言葉でしてあげて欲しいと、職員にも伝えました。

私たちは「人間」を育てています。それも、強くて優しい人、社会に有益な人材、そして何よりも、幸せな人生を送って行けるように、そのための力を「心技体」の面から付けてあげる事、それが我々教員の使命でもあります。しかし当然、子どもたちに吹くのは心地よい春の「そよ風」だけではありません。冬の厳しい凍てつくような「疾風」の中であってもしっかりと生きていける。明日を信じて前に向かえる明るさや人に対する優しさを失うことなく、それでいて、どんな形でも、たくましく生き抜ける、そういう強さやたくましさ、しぶとさも身に付けさせてあげたい。昔に比べて、どうもひ弱になっていると言われる今の子どもたちに、どうやってそんな強さと自信（「強さ」と「自信」はペアになっていると思っています。）を身に付けさせるのか。今の時代、それはとても難しいことになっているのかも知れません。でも、それが我々の大切な仕事でもある。この仕事は彼ら彼女らに生きる力を付けさせることであり、学力をつけることと並ぶくらいに大切なことと考えます。だから、特に、今まさに進路実現という現実と向き合っている３年生。前述の通り、中には厳しい現実を突きつけられることになる子もいます。それこそ「疾風」に吹かれる子どもが当然います。そんな時に何を伝え、何を身に付けさせるのか。そして、その時に何を伝え、どんな支援をするのか。これもまた我々にとっての**「疾風知勁草」**になるのだと思います。大人でもある我々にも「疾風」が吹く時があります。そんな時にどう生きるのかも子どもたちに示してあげないといけない大人としての後ろ姿でもあるのでしょう。



寒さと緊張でこわばった表情の子どもたちにいつものように「おはよう。」と優しく声をかけ、「大丈夫。いつも通り。」と励ます先生。同行されたお母さんやお父さんも「ありがとうございます。」と感謝の言葉を伝えてくださいました。今年も改札を抜けてホームに上がっていく子どもたちの背中を見つめている教員の姿から暖かい「愛」のようなものを感じました。

裏面に続きます

今年度のしめくくりの時期となります。ここからの時期を大切にして、価値のある終わり方ができるように、この令和５年度を感動の中でしめくくれるように、さらに、暖かく光あふれる、幸せ多い令和６年度のスタートにつなげられるように、これからも、東中スタッフは「ONE TEAM」の意識をもって頑張ります。

今後とも、東中学校をご支援くださるようどうぞよろしくお願いいたします。（またしても校長の思いが強くて、文章が長くなってしまいました。申し訳ありません。最後までお読みいただきありがとうございます。）

## 想いを届ける～生徒会による被災地への義援金活動～

令和６年１月１日の夕刻に発生した石川県を中心とする「能登半島地震」で大きな被害を受けた被災地の皆さんに少しでも役立てていただこうと、1月10日から19日まで生徒会本部が中心となって募金活動を行いました。

集まった義援金は最終的には 83,963 円となりました。被災地の方を想いその皆様に届くようにと募金いただいた義援金は、この後、日本赤十字社を通して被災地に送られることになっています。この義援金は避難されている方々の支援、被災地復興の一助とするには、僅かなものとなるでしょうが、尊い想いを込めたものとして少しでも役立てていただければと願っています。ご理解とご協力、誠にありがとうございました。

## 頑張れ！受験生～1･2年生による応援メッセージ作成～

１ 月後半、私立高校入試が行われました。そして、２ 月21日、22日には県公立高校の入試が控えています。ほとんどの3年生が、最後の追い込みの時期を迎えました。

そんな３年生を応援すべく、1･2 年生が合格祈願のだるまの掲示物を作成しました。少しでも力づけようという思いを込め、班ごとに応援メッセージを添えて、デザインもそれぞれ工夫を凝らしました。現在、生徒玄関に掲示してあります。頑張れ受験生！頑張れ東中生！

## 力作ぞろい！わくわくアート展

1月12日から19日まで越谷コミュニティセンターにて「わくわくアート展」が開催されました。東中学校たいよう学級からも多種多様な作品が出品されました。特に立体作品は出来栄えが素晴らしく、参観者の目を引いていました。

たいよう学級では、授業でいろいろな作品作りに挑戦しています。1月には陶芸教室を行い、カレー皿をつくりました。焼き上がりが楽しみですね。

## 2月の予定

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 1<br>最終下校<br>17：30 | 2<br>専門委員会<br>学習の日 | 3 |
| 4 | 5<br>新入生説明会 | 6<br>学習の日 | 7 | 8<br>3年期末試験 | 9<br>3年期末試験<br>2年東京班別行動 | 10 |
| 11<br>建国記念日 | 12<br>振替休日 | 13<br>給食費引落日<br>（2・3月分） | 14 | 15<br>1・2年期末試験 | 16<br>1・2年期末試験<br>学習の日 | 17 |
| 18 | 19<br>学習の日 | 20<br>4時間授業<br>スマート退勤デー | 21<br>県公立高校入試（学力検査）<br>1・2年4時間授業 | 22<br>県公立高校入試（実技・面接） | 23<br>天皇誕生日 | 24 |
| 25 | 26<br>全校集会 | 27 | 28 | 29 | | |

※今月の給食費引落は２・３月分を合わせた金額となりますのでよろしくお願いいたします。

## 3月の予定

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 1<br>県公立高校合格発表<br>たいよう学級校外学習 | 2 |
| 3 | 4<br>県公立高校追検査 | 5<br>学習の日<br>3年命の授業 | 6 | 7 | 8<br>たいよう学級保護者会 | 9 |
| 10 | 11 | 12<br>学習の日 | 13<br>卒業式予行<br>3年給食最終日 | 14 | 15<br>第67回卒業証書授与式<br>学習の日 | 16 |
| 17 | 18<br>2年授業参観<br>保護者会 | 19<br>1年授業参観<br>保護者会 | 20<br>春分の日 | 21<br>短縮3時間授業<br>1・2年給食最終日 | 22<br>専門委員会<br>学習の日 | 23 |
| 24<br>/31 | 25<br>大掃除 | 26<br>修了式<br>学習の日 | 27 | 28 | 29 | 30 |